

## 谷津サザナミ 春夏連覇

### 習志野市少年野球夏季大会



優勝の谷津サザナミ



準優勝のならしのフレンズ



第3位の実花レジェンド



第4位の大久保フロッグスA

習志野市少年野球連盟主催の第52回習志野市少年野球夏季大会が7月22日から25日まで第一カッター球場ほかで開かれた。

4日間にわたる熱戦の結果、参加17チームの頂点には、2年連続で谷津サザナミが輝き、春夏連覇を遂げた。大会には習志野ライオンズクラブ、習志野中央ライオンズクラブ、習志野ロータリークラブ、習志野中央ロータリークラブが協力。上位4チームには習志野ライオンズクラブからトロフィーが、大会で活躍した優秀選手には習志野中央ライオンズクラブから楯が贈られた。

個人賞 習志野中央ライオンズクラブ賞  
 ▼最優秀選手賞 武田壘 (谷津サザナミ)  
 ▼最優秀打撃賞 田崎悠真 (谷津サザナミ)  
 ▼最優秀投手賞 國吉悠雅 (ならしのフレンズ)  
 ▼最優秀敢闘賞 山口凛 (ならしのフレンズ) 伴悠羽 (実花レジェンド) 佐野晃太郎 (大久保フロッグスA)  
 ▼大会主催 習志野市少年野球連盟・習志野市教育委員会 後援 習志野朝日株式会社・市内朝日新聞販売店・JA共済千葉

チーム	対戦相手	スコア
津田沼少年野球団	大東あづまヤンチャーズ	11-5
向山ファアターズB	実利クラブ	16-15
実花レジェンド	習志野フェニックスB	27-0
鷺沼マリ	大久保フロッグスB	15-1
ならしのフレンズ	袖ヶ浦ボーイズ	9-1
大久保フロッグスA	鷺沼マリ	19-2
谷津サザナミ	津田沼少年野球団	9-7
習志野フェニックスA	習志野ベイドリームス	10-9
藤崎シークレット	向山ファアターズA	5-4
谷津サザナミ	向山ファアターズB	17-3

準決勝戦の実花レジェンドと谷津サザナミの一戦は3回表、実花が一死満塁から仲栄眞の三塁打、糸山朔の適時打などで5点。サザナミはその回裏に清田の本塁打で2点返し、その後も加算して同点に追いつき、6回から特別延長戦に入る。実花は内野ゴロなどで2点。サザナミは捕逸で1点。二死となるが、田崎の中越安打で2者がかえり、サヨナラ勝ちした。

準決勝戦のもう一試合、ならしのフレンズ対大久保フロッグスAは、初回にフレンズが2点。大久保は毎回得点で4回までに5-3。しかし、フレンズは5回に3点、6回に2点と得点を重ね、勝利した。

チーム	対戦相手	スコア
谷津サザナミ	実花レジェンド	8-7
ならしのフレンズ	大久保フロッグスA	8-5
実花レジェンド	大久保フロッグスA	12-5
谷津サザナミ	110242	10
ならしのフレンズ	101000	2
マバッテリー 井上、千原、武田、武田、千原 (サザナミ)	小泉、國吉、山口 (フレンズ)	
本塁打	武田 (サザナミ)	

準決勝戦で決勝打を放つ谷津サザナミの田崎選手

【後記】  
 1回表、サザナミは死球の1番清田が連続盗塁、3番千原の左前適時打で1点。その回裏、フレンズは1番國吉、2番小島がともに四球で出塁し、悪投球と盗塁で走者一、三塁だが、3番小泉は二塁ライナー。サザナミ内野陣の守備よく重殺。4番山口も四球で走者一、三塁に5番後藤の内野安打で同点とする。2回表、サザナミは8番田崎が四球。9番大森のバントにフレンズの守備が乱れ、田崎がかえり1点。一方、フレンズは3回裏、先頭の國吉が左越の同点弾を放ち、試合は振り出しに戻る。しかし、サザナミ打線は4回表、田崎が内野安打で出塁。二死から清田の左前安打で田崎がかえり、2番井上の左中間二塁打で清田

もかえり2点差とする。5回表には、先頭の4番武田が左前安打で出塁すると、盗塁、悪投球で三塁へ。5番金子の外飛は相手エラーとなり、武田がかえり1点。6番渡邊は四球、盗塁。7番竹田の内飛はエラーを生み1点。田崎も外飛エラーで出塁するが一死走者一、二塁に大森がバントで送り、清田の左越安打で2点を加え、この回4点。さらに6回には中前安打の千原を塁に置き、武田の左中間本塁打で8点差とする。フレンズは4回以降、安打が出ない。最終回、二死ながら6番山下が四球、7番福永が死球で走者一、二塁。8番佐藤も四球で満塁とするが、サザナミ投手・武田が抑え、ゲームセットとなった。

優勝した谷津サザナミの武田壘キャプテンは「今大会の目標は2連覇達成でしたが、大会前にエース投手の副主将が負傷してしまい、不安なスタートとなりました。それでも登板してくれて、準決勝戦では苦戦しましたが、みんなが最後の一球まであきらめずに戦い、優勝することができました。次の目標は秋に行われる市内大会優勝と県大会でも多く勝ち進むことです。また、コロナ禍の困難な状況で安全に大会を開催して下さった方々に感謝します」と語った。

大会を終え、谷津サザナミの早津監督は「春夏連続優勝、夏季大会連覇を果たしたいという子どもたちとチームスタッフの強い思いが叶いました。コロナ禍の難しい状況下で大会実施を決めて下さった少年野球連盟ならびに関係各位に心より感謝申し上げます」とコメントした。

（4面に「習志野市少年野球ジュニア大会」掲載）